

式 辞

本日ここに、ご来賓及び保護者の皆様のご臨席を賜り、卒業証書授与式を挙行できますことは大きな喜びであり、深く感謝申し上げます。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。お子様の高校卒業という大きな節目を迎えられ、慶びもひとしおのことと存じます。コロナ禍でもあったこの3年間あるいは4年間にわたり本校の教育活動に多大なるご支援・ご協力をたまわりまして厚く御礼を申し上げます。

さて、ただいま卒業証書を授与した全日制 303 名、定時制 16 名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。上田高校で3年間あるいは4年間を過ごす中で皆さんは、様々な活動に主体的かつ熱心に取り組み、リーダーシップを発揮してきました。全日制にあっては、主体的に行動する力、新しい価値や未来を創造する力、自分の幸福とともに他の人の幸福のために貢献する力、定時制にあっては、協調性、主体性を身につけて社会に出て活躍できる力という本校が目標としている力をそれぞれ身につけてくれたことを大変嬉しく、また、誇りに思います。

2024 年は元日の大きな地震から幕を開けました。能登の歴史ある建物が一瞬で瓦礫になり、大きな火災や津波に飲み込まれていく様子は衝撃的なものでした。お避難所暮らしを余儀なくされた被災地の皆さんの様子や、避難所から共通テストに向かう高校生の姿には心が痛くなりました。

その中で、崩れた家の下から生存者を救い出すために懸命に声をかけ、がれきをとりのぞく作業を続ける消防隊や、壊滅的な状況にある水道網を復旧させようと懸命に作業を続ける水道局員、水がない中で懸命に命を守る医療従事者など多くの人々が被災地を支えようと身を粉にして働いていました。彼らの多くは被災地の人々です。自らも被災しているのにどうしてそこまで粉骨砕身努力することができるのでしょうか。

それは一つには「使命感」だろうと思います。最近よく「使命」のお話を皆さんにしています。使命とは、自分が何のために生まれてきたのか、いかに社会に貢献していくのかということ。それが容易く見つかるとは思いませんが、誰にでも使命があるはずです。だから、これから世の中に出ていく皆さんには己の使命をぜひ探し続けて欲しいのです。

Apple の CEO だった Steve Jobs 氏はかの有名なスタンフォード大学の卒業式のスピーチの中で、自らが創設した Apple を解雇された経験について語っています。人生をかけて築いた Apple を失ったことで、逆に会社の発展などの重圧から解放されて、あらためて自分が好きなものが見えたそうです。彼は、エンジニアとして NeXT や PIXAR という新しい会社を立ち上げて好きな仕事に没頭しました。そして解雇から 10 年後、その技術力で改めて Apple に復帰することになります。その後、Apple は iPod や iPhone、iPad を世に送り出し、現在の地位を築きました。彼のメッセージは「好きなことがまだ見つからないなら、探し続けてください。決して立ち止まっただけはいけません。本当にやりたいことが見つかった時にはすぐにわかる。だから探し続けてください。絶対に立ち尽くしてはいけません。Keep looking, Don't settle.」と続きます。彼が言うようにそうやって探し続けていたら己の使命もきっと見つかります。人のため社会のためにみなさんそれぞれが使命を果たしてくれることを願っています。

あなたたちが飛び出していく世の中にはたくさんの困難もあるでしょう。でも、かならず乗り越える道はあるはず。上田高校の精神でもある「いざ百難に試みん」の気概とは、十分な準備・工夫をして困難に挑むことです。その気概で己の使命に向かって果敢にチャレンジし続けてほしいと思います。

卒業生の皆さん、健康に留意し、自分の道をしっかりと歩いていってください。皆さんの前途に幸多からんことを祈り式辞といたします。

